

偶発債務(係争中の訴訟等)集計表(平成21年度)

(所管等)

裁判所所管

(単位:百万円)

名称等(訴訟名等)	金額	事件番号	概要(簡単な説明, 今後の予定等)
民事事件等に起因するもの			
国家賠償請求事件	0	東京高裁21㉔	原告の司法行政文書の情報開示請求に対し, 当該文書が開示の対象であるにも関わらず不開示の決定をしたのは不当であるなどとして, 損害賠償を求めもの。審理中
国家賠償請求事件	4	名古屋高裁22㉔	原告は, 現況調査報告書と評価書の記載を信じて競売により不動産を購入したところ, 執行官が本件土地の現状と公図が明らかに異なっていることを見落として現況調査報告書を作成しており, 評価書には上水道の引込みがされておらずにされている旨の評価がされる等の記載があったために損害を被ったなどと主張して, 損害賠償を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	3	仙台高裁22㉔	原告が申し立てた別件訴訟及び仮差押申立事件において, 裁判官が, 8ヶ月もの間, 期日指定をせず, また, 仮差押決定をしなかったのは, 違法であるとして, 損害賠償を求めもの。 控訴棄却確定
国家賠償請求事件	1	和歌山地裁207	原告は, 現況調査報告書及び評価書に, 公道に隣接すると記載されているのを信じて土地を競売したところ, 公道に隣接しておらず, 実際の評価額は, 競売手続における評価額よりも低かったため損害を被ったなどと主張して, 損害賠償を求めもの。 取下げ
国家賠償請求事件	3	東京地裁217	訴外法人が債務者である明渡執行の手続において, 執行官に暴行を加えられたなどと主張して損害賠償を求めもの。 一部認容確定
国家賠償請求事件	0	最高裁22㉔	原告が当事者の別件訴訟において, 会社法937条1項1号ト1)の所定の裁判による登記の嘱託を, 当該訴訟が終了した以降, 審判官が職権で遅滞なく行う義務があるのに嘱託をしないために, 会社役員として收受すべき報酬を受けられなかったなどと主張して, 損害賠償を求めもの。 上告棄却確定
国家賠償請求事件	0	広島高裁22㉔	不動産執行事件の担当執行官が身分証明書の不携帯という不法行為を起こした等と主張して, 損害賠償を求めもの。審理中
国家賠償請求事件	6	青森地裁217	不動産競売事件の売却手続によって本件建物を買い受けた原告が, 本件建物は冷蔵庫関係設備の付いたものとして評価され, 同設備が撤去されると本件建物の価値が大きく毀損されることは明らかだったので, 保全処分を申し立て, 執行官が執行したが, 前所有者が本件建物から備品等を搬出すると申し出てきたときに, 同人に対して本件建物の鍵を預けただけで備品等の搬出に立ち会わなかったため, 冷蔵庫関係設備を搬出されてしまい, 損害を被ったとして, 損害賠償を求めもの。審理中
国家賠償請求事件	0	東京高裁22㉔	調停事件全記録の閲覧・謄写申請をしたところ, 記録係の書記官により, 一部の記録について閲覧・謄写を拒絶されたが, 後日, 裁判官により, この拒絶処分の取消決定がなされたこと, 及び上記調停事件とは異なる調停事件について, 証明申請をしたところ, 書記官の勝手な解釈により拒絶処分がなされたこと等により印紙額, 交通費等の損害を被り, 精神的苦痛も被ったと主張して損害賠償を求めもの。審理中
国家賠償請求事件	2	長野地裁217	本件は, 原告が適法な短期賃借権を有していたのに, 不動産競売事件を担当した書記官の勘違いにより保護されなかったことにより損害を被ったとして, 損害賠償を求めもの。 請求棄却確定
国家賠償請求事件	2	東京地裁立川支部 217	原告が申し立てた仮差押えの執行において, 執行官は, 故意に仮差押えの執行の日時を先送りにしたため, 債務者が上記不動産を隠匿してしまい, 仮差押えが不能かつ若く困難となった。また, 債務者の移転先において, 執行官は仮差押えを執行不能としたが, 当該不動産は高価な贅沢品なので仮差押えをすべきであったなどと主張して, 損害賠償等を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	福岡高裁22㉔	破産管財人が破産債権の存否に関して調査を怠り, 破産債権を債権回収会社に譲渡した。また, 裁判所は破産管財人の監督を怠り, 原告の債務者に対する破産債権の存否を確認しないまま, 他の債権と同時に売却処分を許可したなどと主張して, 損害賠償等を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	13	東京地裁217	原告は登記済みの建物2棟を所有していたが, 不動産競売事件を担当した書記官が, これらの建物を物件目録に未登記建物として記載したために, 競売の対象となり所有権を失ったと主張して損害賠償を求めもの。審理中
国家賠償請求事件	1	大分地裁日田支部 227	債権配当手続において, 一件記録によれば, 原告を配当の対象に加えるべきことを容易に認識し得るにもかかわらず, 書記官及び裁判官が注意を著しく怠って原告を配当に加えなかったことにより, 財産権を侵害されたと主張して損害賠償を請求するもの。 和解成立
国家賠償請求事件	17	東京地裁227	担保不動産競売事件において, 原告が競売した本件不動産に土壌汚染がみつかり, その処理費用分の損害を被った。本件不動産に土壌汚染がある旨は, 評価書, 現況調査報告書及び物件明細書にも記載がなかった。本件土壌汚染は容易に発見しえたはずであり, この点を看過して作成された評価書には重大な過失があるなどと主張して損害賠償を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	3	東京地裁227	原告が被告として提起された別件訴訟において, 代理人弁護士が委任を受けていない事項に関して和解を成立させた。この事項は, 和解の骨格をなすものであるため, 和解条項で別件競売事件における原告の買受申出を取消す権限を委任された弁護士が行った買受申出取消手続も無効となると主張して, 無効確認を求めもの。 取下げ
国家賠償請求事件	11	東京地裁227	原告が申立債権者である別件担保不動産競売事件において, 同事件の債務者は, 原告を被告として第三者異議訴訟を提起し, かつ, 担保を供託して強制執行停止決定を得た。債務者は, この第三者異議訴訟で敗訴し, 強制執行停止決定は取り消され, 判決は確定した。債務者は, 何らの根拠もないのに強制執行停止決定の担保である供託金につき, 「供託原因消滅証明」の申請をなし, 書記官は, 供託原因が消滅した事実が存在しないにもかかわらず, 供託原因消滅証明書を作成交付したため, 債務者が供託金を取り戻し, 原告は供託金からの回収ができなくなったと主張して損害賠償を請求するもの。 和解成立
国家賠償請求事件	5	福岡地裁小倉支部 227	担保不動産競売事件において, 執行官が, 現況調査報告書に, 本件建物の便所は汲み取り式であること等を記載しなかった。また, 評価人が評価書に虚偽の評価を記載したことにより, 工事費等の損害及び精神的苦痛を被ったと主張して損害賠償を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	75	京都地裁227	担保不動産競売事件において, 原告が競売した土地の現況調査報告書及び評価書には, 産業廃棄物の投棄がある旨の記載がなかったため, 意図していた土地利用が不可能となった。本件土地を実地に於いて詳しく調査すれば, 産業廃棄物の投棄は容易に発見しえたはずであり, この点を看過して作成された現況調査報告書及び評価書には重大な過失がある。また, 裁判官は, 本件土地が山林であることから, 現地での詳しい調査確認を執行官及び評価人に促すなど, その正確性について確認を行うべき注意義務があったのに, それを怠った過失があるなどと主張して損害賠償を請求するもの。審理中

名称等(訴訟名等)	金額	事件番号	概要(簡単な説明, 今後の予定等)
国家賠償請求事件	66	千葉地裁八日市場支部 227	裁判所には、仮差押決定によって債務者が不当な不利益を受けることのないよう、疎明資料の検討・調査には高度の注意義務が課せられているのに、それを怠り、誤った仮差押決定を下した。根拠当権に基づく担保不動産競売事件において、執行官が現況調査を行うにあたり、通常行うべき調査方法を採らず、調査結果の十分な検討を怠るなど、調査・判断の過程が合理性を欠き、現況調査報告書に数々の重大明白な誤りや不正確な点を含んでいた点は、注意義務違反である。強制競売事件において、現況調査報告書の内容が甚だしく、執行官として当然に期待される基本的な注意義務に著しく違反するものであり、また、裁判所が、農地を他の宅地と共に一括売却したことは違法である。などと主張して、上記の各注意義務違反等がなければ、債務は完済されていたのだから、国は国家賠償責任を負うべきであると主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	1	東京地裁187	裁判官と書記官が共謀して、被告代表者の尋問調書を改ざんし、別の訴訟で、改ざんされた事実が認定されたにもかかわらず、訴訟が更正されないなどと主張して、損害賠償を求めると主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	東京高裁194	訴状に貼付していた印紙8000円を消印されたことに対する、不当利得請求および債務不存在確認等を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	1	宮崎地裁197	別件調停事件において、席上で調停委員から暴言・暴行を受けた。また、非公開である調停の詳細な内容を公表したなどと主張して、損害賠償を求めると主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	東京地裁211	原告が、原告勝訴で確定した判決の時効中断のために提起した訴訟において、確定判決と矛盾する判決が出されたのは不当であるなどと主張して、慰謝料を求めると主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	札幌地裁201	原告が提起した別件訴訟で、担当書記官が、申立人に確認することなく一方的に期日呼出状を送付した。傲慢な態度で対応した。忌避の申立てをしたところ、当該書記官と同じ係に配てられた。原告が提出した登記簿を無断で付けかえた。一度も、口頭弁論が開かれなかったなど、不当な処分等を受けたなどと主張して、提起した事件にかかる印紙代、郵便料の損害賠償及び慰謝料を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	高松高裁204	原告が提起した別件訴訟の控訴審において、原告が法律の規定どおりの収入印紙を貼付したにも関わらず、補正命令をしたうえ、控訴状を却下した。また、原告が判決に対する更正決定の申立てをしたのに、不当に却下決定をしたなどと主張して、慰謝料を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	22	東京地裁197	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が誤った判決をしたことにより損害を被ったとして、損害賠償を求めると主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	仙台地裁197	原告が提起した別件訴訟において、事前に審判の送付は普通郵便で行うよう申し出ていたにも関わらず、補正命令等が特別送達による方法で行われたため郵便料金1920円の損害を被ったなどと主張して損害賠償を求めると主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	3	最高裁22才/22受	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が原告に不利になる不当な訴訟指揮をしたなどと主張して損害賠償を求めると主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	仙台地裁207	原告が提起した別件訴訟で、担当書記官が不当に郵便切手を使用し損害を与えた(徳島地裁)、裁判官が不当に訴訟救助の申立てを却下した(仙台高裁、仙台地裁)ため損害を受けたなどと主張して損害賠償を求めると主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	2	最高裁22才	原告が提起した別件訴訟(原告が株主である会社の株主総会決議無効等請求事件)において、裁判官が裁量権を逸脱し、不当な判断をしたなどと主張するもの。 上告棄却確定
国家賠償請求事件	261	東京地裁207	破産事件において、破産宣告確定通知は、宣告確定後ただちに本籍地の市長に通知しなければならないにも関わらず、破産廃止が確定した後に通知したのは、すでに手続が終了している破産事件が未だ係属している事実を偽ったもので違法であり、これにより、原告は弁護士登録の手続ができなかったなどと主張して、損害賠償を求めると主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	10	最高裁22才	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が不当な判決をしたと主張するもの。 上告却下確定
国家賠償請求事件	0	福岡高裁22才	原告が提起した別件訴訟で、郵便切手を不当に返還しなかったなどと主張して損害賠償を求めると主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	1	徳島地裁207	原告が提起した別件訴訟の手続において、書記官が、不当な対応をしたり、裁判官が不当な判決をしたなどと主張して慰謝料を求めると主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	1	最高裁22才	原告が申し立てた裁判官忌避申立事件等において、裁判官が不当な判断をしたなどと主張して、損害賠償を求めると主張するもの。 上告却下確定
国家賠償請求事件	200	徳島地裁207	原告が当事者である別件訴訟において、裁判官が正当な事実認定をせず、誤った判決をしたなどと主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	2	東京地裁207	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が不当な判断をしたなどと主張して慰謝料を求めると主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	1	東京地裁217	原告が当事者である別件訴訟で、最高裁の上告棄却決定に対し、特別抗告申立てを行ったにも関わらず、適正な手続がとられなかったなどと主張して、慰謝料を求めると主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	2	徳島地裁207	原告が当事者であり、裁判官、書記官、事務官が不当な対応をしたなどと主張して慰謝料を求めると主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	岐阜地裁217	原告が当事者である別件訴訟において、訴訟で提出した検証物が不当に返還されないと主張して損害賠償を求めると主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	1	大阪地裁207	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が職務放棄をして国民の公平な裁判を受ける権利を侵したなどと主張して、慰謝料を求めると主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	東京地裁立川支部 211	原告が当事者である別件訴訟において、必要もないのに特別送達を利用することによって、経済的負担を強いられたなどと主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	最高裁22才/22受	書記官が、裁判官の不当な指示により、重要な事項を調書に記載しなかったなどとして、慰謝料を求めると主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	最高裁22才/22受	原告の人身保護請求事件の控訴審において、裁判官が不当に棄却する決定を行ったなどと主張して、損害賠償を請求する事案である。 上告棄却・不受理確定
国家賠償請求事件	0	最高裁22才/22受	原告が当事者である別件訴訟において、裁判官が手続を不当に遅延させたなどと主張して、慰謝料を求めると主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	最高裁22才/22受	原告が当事者である別件訴訟において、書記官が調書に虚偽の記載をしたなどと主張して、慰謝料を求めると主張するもの。 上告棄却・不受理確定
国家賠償請求事件	0	最高裁22才/22受	原告が当事者である別件訴訟において、不当な判決をしたなどと主張して、慰謝料を求めると主張するもの。 上告棄却・不受理確定
国家賠償請求事件	1	最高裁22才	原告が当事者である別件訴訟において、裁判官が不当に虚偽の判決をした等と主張して慰謝料を求めると主張するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	広島高裁22才/22受	裁判官が、弁護士会懲戒委員会で作成された虚偽の議決書に署名をしたのは、背任行為であり違法であるなどと主張して、慰謝料を求めると主張するもの。審理中

名称等(訴訟名等)	金額	事件番号	概要(簡単な説明, 今後の予定等)
国家賠償請求事件	12	最高裁22才●●/22受●●	原告が提起した別件訴訟で、控訴審において、裁判官が不当な判断をしたなどと主張して、損害賠償等を求めるもの。 ●●●●● 上告棄却・不受理確定
国家賠償請求事件	0	長崎簡裁21ハ●●	申立人が、不在のため郵便を留め置くように郵便事業株式会社に不在届を提出していたにも関わらず、福岡高裁の職員が、申立人宛の特別送達郵便を、差出人に返戻するよう申し入れたため、申立人が申し出ていた期間中、留め置かれず、精神的損害を被ったなどとして、慰謝料を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	1	最高裁22才●●/22受●●	原告が当事者の別件訴訟において、書記官が、判決正本を原告に手渡すことなく、事実と反する理由を付けて控訴をできなくした等と主張して、慰謝料等を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	最高裁22才●●	原告が、裁判官らの職務不履行の不作为により、裁判官忌避申立の権利を不当に侵害された等と主張して、慰謝料等を求めるもの。 ●●●●● 上告棄却・不受理確定
国家賠償請求事件	0	最高裁22才●●/22受●●	裁判官が、原告主張の鑑定書の記載を無視して決定し不法行為をしたなどと主張して慰謝料等を請求するもの。●●●●● 上告棄却・不受理確定
国家賠償請求事件	0	最高裁22才●●	原告が当事者の別件訴訟において、裁判所の訴状の振り分けに不正行為があったこと等と主張して、慰謝料を求めるもの。 ●●●●● 上告棄却確定
国家賠償請求事件	1	最高裁22才●●/22受●●	原告が当事者の別件訴訟において、裁判官が違法行為により損害を加えた等と主張して、損害賠償を求めるもの。 ●●●●● 上告棄却・不受理確定
国家賠償請求事件	0	松山地裁21ワ●●	原告が当事者の別件訴訟において、裁判官が法廷で嘘の説明をし、原告に精神的苦痛を与えたと主張して、損害賠償を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	佐倉簡裁21ハ●●	原告が提起した別件訴訟で、裁判官が不法行為等により原告から裁判を受ける権利を奪い、基本的人権の享有を侵害した等と主張して慰謝料等を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	広島高裁22才●●/22才●●	原告が当事者の別件訴訟において、裁判所書記官が調査偽造の詐欺による訴訟妨害の不法行為をした等と主張して、慰謝料を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	最高裁22才●●	原告が、裁判官らの職務不履行の不作为により、公正な決定がなされなかったなどと主張して慰謝料等を求めるもの。 ●●●●● 上告棄却確定
国家賠償請求事件	4	広島高裁22才●●	原告が当事者である別件訴訟において、広島高裁の裁判官が、争点について審理をしない、証言させない等と主張して損害賠償を求めるもの、及び、原告が当事者である別件訴訟において、広島地裁の裁判官が、被告らと結託協力して虚偽判決を下した等と主張して損害賠償を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	松山地裁21ワ●●	原告が当事者の別件訴訟において、裁判官が法廷で嘘の説明をし、書記官が証人尋問等の録音テープに違法に手を加えた等と主張して、損害賠償を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	松山地裁21ワ●●	原告が当事者の別件訴訟(2件)において、各担当裁判官が法廷で虚偽の説明をしたと主張して、損害賠償を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	広島高裁22才●●/22才●●	原告が当事者の別件訴訟において、裁判官は、訴状の請求原因を放置し、口頭弁論調書の記載事項を用いて被告代理人(元裁判官)の詐欺的架空請求行為を判決で合法としたなどと主張し、慰謝料を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	横浜地裁21ワ●●	原告らが当事者の別件訴訟において、裁判官からいじめ嫌がらせを受けたりなどしたことで公平な裁判を受けられなかった。また、送達の切手を横に貼るという行為を受け、見下され馬鹿にされた等と主張し、慰謝料を請求するもの。 ●●●●● 請求棄却確定
国家賠償請求事件	0	広島高裁22才●●/22才●●	原告が、裁判官らの職務不履行の不作为による不法行為により公正な決定がなされなかったと主張して、損害賠償等を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	大阪地裁21ワ●●	原告が当事者の別件訴訟に関して、裁判官の職権濫用の存在確認を求め、さらに宿泊費等を請求するもの。●●●●● 請求棄却確定
国家賠償請求事件	0	佐世保簡裁21ハ●●	原告が当事者である別件訴訟で、期日変更を依頼した口頭弁論期日に、被告のみを出頭させて口頭弁論を行ったことは、不公平であり、精神的苦痛を受けた等と主張して、損害賠償等を求めるもの。 ●●●●● 請求棄却確定
国家賠償請求事件	0	仙台地裁21ワ●●	原告が当事者である別件訴訟で、被告側から和解の申入れがあり、解決の目処が立っていたのに、裁判官の不当な訴訟指揮により、和解による経済的利益を得ることができなくなった等と主張し、慰謝料を求めるもの。 また、原告が、簡易裁判所に申し立てた事件を、再三の申入れにも関わらず地方裁判所に移送し、廉価で簡易迅速に簡易裁判所で裁判を受ける権利を侵害された等と主張して慰謝料を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	広島高裁22才●●	原告が当事者である別件訴訟の口頭弁論を取録した録音テープの複製を書記官が認めなかったなどと主張して損害賠償を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	名古屋簡裁21ハ●●	原告が当事者である別件訴訟の控訴審で、裁判官が唯一の証拠方法の申出を合理的な理由がないのに不採用とし、原告の権利を不当に侵害した等と主張して、損害賠償を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	鹿児島地裁21ワ●●	原告が当事者である別件訴訟において、裁判官らが言い渡した事実認識の判決によって損害を被った等と主張して、損害賠償を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	最高裁22才●●/22受●●	原告が当事者である別件訴訟において、裁判官らが言い渡した不合理な不正な判決によって損害を被った等と主張して、損害賠償等を求めるもの。 ●●●●● 上告棄却・不受理確定
国家賠償請求事件	0	札幌高裁22才●●	原告が当事者である別件訴訟において、裁判官の違法な言葉の暴力等により、精神的苦痛及び肉体的損害を被った等と主張して、損害賠償等を求めるもの。 ●●●●● 控訴棄却確定
国家賠償請求事件	0	広島高裁22才●●/22才●●	原告が当事者の別件訴訟において、裁判官が不正をはたらく鑑定人を指定したことは違法であり、それにより公正な裁判を妨害されたなどと主張し、慰謝料を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	1	名古屋高裁21才●●	原告が当事者である別件訴訟において、担当裁判官が不正をして怪しい判決を下した等の不法行為によって損害を被った等と主張して、慰謝料を求めるもの。 ●●●●● 控訴棄却確定
国家賠償請求事件	0	最高裁22才●●/22受●●	原告が当事者の別件訴訟において、裁判官が提訴者への差別待遇と報復裁判をするのは違法であり、若しく精神的苦痛を受けたと主張し、慰謝料を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	最高裁22才●●/22受●●	原告が申し立てた忌避事件において、基本事件を担当している裁判官が、同事件に基づく忌避事件について決定を下したことは、明らかに公平性がなく合理的でもなく、道義的見地、信義則に反する行為であり、若しく精神的苦痛を受けたと主張し、慰謝料等を請求するもの。 ●●●●● 上告棄却・不受理確定

名称等(訴訟名等)	金額	事件番号	概要(簡単な説明, 今後の予定等)
国家賠償請求事件	2	福岡高裁22ネ	原告が提起した別件国賠訴訟において、審理を担当していた裁判官が、国賠の対象となっていた裁判官を守るために、付与された権限の趣旨に明らかに背いてこれを行なったものと自認しながらも、あえて不当な判決をしたため控訴を余儀なくされたなどと主張して、損害賠償を求めらるもの。控訴棄却確定
国家賠償請求事件	5	広島高裁21ネ才/21ネ受	原告が提起した特別抗告について、最高裁判所に送らなくても決定が出せるにもかかわらず、書記官が最高裁判所に送って長引かせることは嫌がらせであるなどと主張して、損害賠償を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	最高裁22才/22受	原告が当事者である別件訴訟において、裁判官が、いまだ同訴訟に参加していなかった弁護士に、同訴訟に関する情報を漏らしたため、裁判の中立さがなくなった等と主張して、謝罪金を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	松山地裁217	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が事実を歪曲して作為の判決をしたことにより精神的苦痛を受けたなどと主張して損害賠償を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	岐阜地裁217	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が適切な訴訟指揮をせず、公正な裁判を受ける権利を剝奪したなどと主張して慰謝料を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	1	福岡高裁22ネ	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が、証拠がないにもかかわらず上記訴訟における被告の主張を容認したことは、不相当と解されるほどに著しい客観的な行為規範への違反であることが明らかであるなどと主張して損害賠償を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	2	福岡高裁2ネ	原告が申し立てた別件特定調停において、調停委員は、原告らが調停手続を断念するよう説得だけを繰り返し続け、調停不成立での一件落着を図ったこと、及び、裁判官が、特定調停と同時に申し立てた不動産競売手続停止決定の審理を何ら行わなかったため、自宅の競売手続の進行が止められず自宅営業続行の途が閉ざされてしまったことにより精神的苦痛を被ったなどと主張して慰謝料を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	377	大阪地裁217	原告が当事者の別件訴訟において、裁判官が事実認定と法律適用を誤った判決をした、また、書記官が故意かつ違法に公権力を行行使して原告に損害を加えた等と主張して、損害賠償を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	88	東京地裁217	原告が当事者の別件訴訟において、裁判官が付与された権限に違背する注意義務違反により、被告会社が原告所有物件を処分するよう仕向け、原告の権利侵害をしたなどと主張し、損害賠償を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	松山地裁217	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が違法の事実を知りながら虚偽の判決をしたことにより、精神的苦痛を与えられたと主張して慰謝料を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	岐阜地裁217	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が適切な訴訟指揮をせず公正な裁判を受ける権利を剝奪したなどと主張して損害賠償を求めらるもの。請求棄却確定
国家賠償請求事件	0	福岡地裁217	原告が申立人の調停事件において、調停委員が、相手方に一方的に有利な条件を、原告に対して無理矢理に承認させようと暴言を吐き返る不法行為により、精神的被害を受けたとして、損害賠償を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	10	大阪地裁217	執行官は、大阪市と結託し、仮処分執行調書を虚偽に作成し、原告が占有する市場全部を侵奪して閉鎖し、建物明渡・引渡調書(断行)も虚偽に作成し財産権を侵害し、もって、原告に対し、長期間、心身共に苦痛を与えた等と主張して、損害賠償を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	広島高裁21ネ	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が、原告が金銭を支払っている事実を判決書内で抹消し、不当に原告の主張を変えて不正裁判をしたなどと主張して慰謝料を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	松山地裁217	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が事実を歪曲して運用し、作為の判決をしたことにより精神的苦痛を受けたなどと主張して慰謝料を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	3	大阪高裁22ネ	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が偽判決をしても遊んだことにより精神的苦痛を受けたなどと主張して慰謝料を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	松山地裁217	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が事実を歪曲して作為の判決をしたことにより精神的苦痛を受けたなどと主張して慰謝料を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	広島高裁22ネ	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が公正な訴訟指揮を装い原告をだましたこと、及び原告への差別待遇により、原告の主張を一切認めず虚偽の理由で却下した判決書の内容により裁判を受ける権利を不当に侵害したなどと主張して慰謝料等を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	広島地裁217	原告が提起した別件訴訟において、裁判所の訴状の振り分けに不正行為があった、及び回避理由がありながら不正裁判を目的として裁判官自ら回避しないという不法行為があったなどと主張して慰謝料を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	広島高裁22ネ	原告が提起した別件訴訟において、書記官が原告の要請を不当に認めなかった事実を隠蔽するために口頭弁論調書をねつ造したなどの行為により著しく精神的苦痛を受けたなどと主張して慰謝料等を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	広島高裁22ネ	原告が申し立てた忌避を裁判官が不当な目的で却下したのは言論の弾圧であるなどと主張して損害賠償等を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	広島高裁22ネ	原告が申し立てた忌避を裁判官が妨害する目的で、忌避対象裁判官が所属する部で忌避申立を差し押さえた上に放置する行為は、職権濫用と職務不履行による違法行為であり、それにより著しく精神的苦痛を受けたなどと主張して慰謝料を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	札幌高裁22ネ受	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が、原告に代表権がないとして違法な却下判決を出したことにより、原告会社は、何回も代表取締役を変えるため、株主総会を開催したり、弁護士に何回も相談したなどと主張して精神的慰謝料を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	新居浜簡裁21ハ	原告が提起した別件訴訟において、地裁の裁判官が、最高裁の唱える民事裁判の使命即ち「双方の言い分を確かめ、証拠を調べた上で」から逸脱し、結果として誤審判決をなしたことにより精神的な苦痛を蒙ったなどと主張して慰謝料を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	新居浜簡裁21ハ	原告が提起した別件訴訟において、高裁の裁判官が、最高裁の唱える民事裁判の使命即ち「双方の言い分を確かめ、証拠を調べた上で」から逸脱し、結果として誤審判決をなしたことにより精神的な苦痛を蒙ったなどと主張して慰謝料を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	高松高裁22ネ	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が、争点離れ、主題のすり替え、請求原因外しの判断によって、誤審判決をなしたことにより精神的な苦痛を蒙ったなどと主張して慰謝料を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	4	岐阜地裁217	原告が提起した別件訴訟において、職権濫用の判断によって損害を受けたなどと主張して損害賠償を求めらるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	東京高裁22ネ	原告は、判断に重大な誤りがある「執行力ある判決」により強制執行の処分を受けたなどと主張して損害賠償及び慰謝料の一部を求めらるもの。審理中

名称等(訴訟名等)	金額	事件番号	概要(簡単な説明、今後の予定等)
国家賠償請求事件	1	金沢地裁21行ウ	原告が被告として訴えられた別件訴訟において、数度に亘り相手方が申し立てた調査囑託の不採用を申し出ているのに、裁判所が採用したのは手続の方法に瑕疵があるなどと主張して調査囑託の無効確認及び損害賠償等を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	1	岡山地裁217	原告が別件調停を申し立てる際に裁判所で受けた説明と、強制執行の申立ての際に受けた説明が一致していないため、裁判所は借用できないなどと主張して損害賠償を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	松山地裁217	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が作為の判決をしたことにより精神的苦痛を受けたなどと主張して慰謝料を求めるもの。 請求棄却確定
国家賠償請求事件	0	松山地裁217	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が違法に原告の要請を採用せず悪質な作為の裁判により精神的苦痛を受けたなどと主張して損害賠償を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	神戸地裁217	原告が提起した別件訴訟において出された判決の判断には、事実誤認があるなどと主張して損害賠償を求めるもの。 控訴状却下確定
国家賠償請求事件	0	高松高裁22ネ	原告が提起した別件訴訟において、控訴審の裁判官の誤審・誤判を上告審の裁判官が是認した事実は、重大な有責性が伴うなどと主張して慰謝料を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	高松高裁22ネ	原告が提起した別件訴訟の控訴審において、裁判官の誤判、曲論により精神的な苦痛を蒙ったなどと主張して慰謝料を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	大阪高裁22ネ	原告が提起した別件訴訟における一連の裁判は、内容的にも公正な裁判ではなく、少なくとも裁判官の過失により裁判を受ける権利を侵害されたなどと主張して損害賠償を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	松山地裁217	原告が提起した別件訴訟における裁判官の誤審・誤判の事実は、重大な有責性が伴うなどと主張して慰謝料を求めるもの。 請求棄却確定
国家賠償請求事件	2	広島高裁22ネ	原告が提起した別件訴訟において、高裁の裁判官が争点の整理をしない状態で結審して裁判妨害をしたこと、及び地裁の裁判官が偽造判決を下したことにより、「裁判を受ける権利」を侵害された等と主張して損害賠償を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	2	旭川地裁217	原告が提起した別件訴訟において、法令違反を隠蔽する目的をもって、地裁及び高裁の裁判官が事実を知りながら原告敗訴の判決を下したことが憲法に違背する等と主張して損害賠償を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	高松高裁22ネ材/22ネ受	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が違法又は不当な判決をする目的をもって憲法違反の違法判決をしたなどと主張して損害賠償を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	3	東京高裁22ネ	原告が提起した別件訴訟において、収入印紙等を納付しているにもかかわらず、裁判官が不当な収入印紙の納付を強要したことは公権力の濫用であるなどと主張して、損害賠償を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	1	岡山地裁217	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が違法な訴訟指揮をしたなどと主張して損害賠償を請求するもの。 請求棄却確定
国家賠償請求事件	0	広島地裁217	原告が提起した別件訴訟において、裁判官の違法行為により著しく精神的苦痛を受けたなどと主張して、慰謝料を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	1	長野地裁217	原告が当事者の民事調停申立事件において、裁判所及び調停委員は、原告を侮辱する言葉を使い、原告に不当に責任を帰する形で職務放棄した等と主張し、損害賠償を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	松山地裁227	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が事実を歪曲して作為の判決をしたことにより精神的苦痛を受けたなどと主張して損害賠償を請求するもの。 請求棄却確定
国家賠償請求事件	0	大阪高裁22ネ	原告が提起した別件訴訟の控訴提起を、裁判官が罪の意識もなく取下げとみなして原告の控訴提起を機能停止させたことは、明白なる職務濫用罪であるなどと主張して損害賠償を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	広島地裁217	原告は、書記官からの本来の職務を逸脱した故意による嫌がらせと報復行為により、著しく精神的苦痛を受けたなどと主張し慰謝料を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	3	仙台高裁22ネ	原告が提起した別件訴訟の控訴審において、裁判官が原告が申し出た証人尋問を不採用にしたことにより、勝訴できた裁判が敗訴になったため、精神障害になったなどと主張して損害賠償を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	1	大阪地裁227	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が法廷を開かないなどと主張して損害賠償を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	東京簡裁22少コ	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が審理しないという違法行為に対して損害賠償を請求するもの。 請求棄却確定
国家賠償請求事件	0	高松高裁22ネ	原告が被告として提起された別件訴訟において、裁判官から敗訴すると言われ、不公平な和解に応じさせられたなどと主張して慰謝料を求めるもの。審理中
国家賠償請求事件	0	広島地裁227	原告が提起した別件訴訟において、書証で立証しているにもかかわらず、裁判官が書証に基づいた判断をせず精神的苦痛を被ったなどと主張して損害賠償を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	1	大阪地裁227	原告が提起した別件訴訟において、法廷が開かれなかったなどと主張して損害賠償を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	1	大阪地裁227	原告が提起した別件訴訟において、法廷が開かれなかったなどと主張して損害賠償を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	1	大阪地裁227	原告が提起した別件訴訟において、法廷が開かれなかったなどと主張して損害賠償を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	広島地裁227	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が不当な訴訟指揮をしたなどと主張して損害賠償を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	東京地裁227	原告が提起した別件訴訟において、裁判官忌避の申立てをしたところ、その申立却下の手続が非公開によってなされたことは憲法違反であるなどと主張して慰謝料を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	0	東京地裁227	原告が提出した別件訴訟において、高裁の裁判官が権限を濫用して差別した。また、受付終了時間間際に訴訟を提出しようとしたときに、担当した職員が夜間の受付サービスがあることを説明しなかったなどと主張して慰謝料等を求めるもの。 取下げ
国家賠償請求事件	0	旭川地裁227	原告が提起した別件訴訟の上告審において、裁判官が、地裁及び高裁の裁判官らの不法行為事実を知りながら、それを隠蔽する目的をもって上告棄却の判決を下したことが憲法に違背するなどと主張して損害賠償を請求するもの。審理中
国家賠償請求事件	5	東京地裁227	原告が提起した別件訴訟において、最高裁の裁判官が第一審の事実誤認を看過して憲法違反を重ねてきたことにより財産権を侵害したなどと主張して慰謝料を請求するもの。 訴え却下確定

名称等(訴訟名等)	金額	事件番号	概要(簡単な説明, 今後の予定等)
国家賠償請求事件	10	山口地裁岩国支部227	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が訴訟進行において民族差別などを行い、不正な裁判を行ったことは憲法違反であるなどと主張して慰謝料を請求するものである。審理中
国家賠償請求事件	1	大阪地裁227	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が法廷を開かないために、裁判所に納付した手数料につき民事訴訟費用等に関する法律第9条3項1号による手数料の返付を求められないなどと主張して損害賠償を求めめる事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	松江地裁227	原告が当事者である別件訴訟において、口頭弁論をテープに収録することを申し出たところ裁判官が不当に拒否した。法廷で拡声機の利用を申し出たところ裁判官が不当に拒否した。裁判官と国が結託して答弁書の提出がないまま不当に判決を行った。として損害賠償を求めめるもの。審理中
国家賠償請求事件	354	東京地裁227	原告の破産手続において、破産廃止決定が確定したことにより事件が終了し復権しているにもかかわらず、書記官は、何の権限もなく市役所に破産宣告確定通知を行った。その後、同書記官が取消通知を行うことなく他の裁判所に異動したために、取消通知をされないことが事実上確定した。その結果、市役所から破産者でないことの証明書の発行が得られないこととなり、弁護士業務を開業する権利を一生剝奪された等と主張して、逸失利益及び慰謝料を求めめる事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	広島地裁呉支部227	原告が提起した別件訴訟において、審証で立証しているにも関わらず、裁判官が証拠採用せず、職権濫用を行い、訴状却下によって犯人を懲罰したなどと主張して、慰謝料を請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	8	松江地裁浜田支部227	原告が提起した別件訴訟において、①地裁及び高裁の裁判官は、すべての争点において虚偽事案の認定を行い、また最高裁の裁判官は、公文書偽造の判決であることを熟知しながら、虚偽の決定を行った。②高裁の裁判官は、聴権乱用によって録音テープの反訳を認めなかった。③地裁の裁判官及び書記官は、原告の証言の半分程度を削除するなど、原告が行った証言内容の趣旨を変更させた本人調書を作成して、虚偽の判決を行った等と主張して、敗訴した事件の請求額相当の損害賠償及び慰謝料等を求めめる事案である。審理中
国家賠償請求事件	2	静岡地裁浜松支部227	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が、賄賂を受け取って相手方を勝訴させたとして、損害賠償を請求している事案である。 請求棄却
国家賠償請求事件	0	岐阜地裁227	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が原告の意思に反した不当な判決を行ったなどと主張して、慰謝料を求めめる事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	大津地裁227	原告が提起した別件訴訟において、裁判官が出した補正命令に対する回答期限の延長を担当書記官に申し出て了解を得、延長期限内に補正文を提出したにもかかわらず、訴状を却下したのは裁判所内の連絡不十分であると主張して、本件の裁判費用を損害賠償として請求する事案である。審理中
国家賠償請求事件	0	佐賀地裁217	原告に対してなされた競売申立ては、申立人らの違法行為に基づくものであることが明白となったので、却下されるべきであり、取り消されるべきであって、違法な競売開始決定によって、原告の名誉と財産権は著しく侵害されたと主張して、競売開始決定の取消しと慰謝料を請求する事案である。審理中
小計149件	1630		
刑事事件に起因するもの			
損害賠償請求事件	26	東京高裁 (平22ホ)	捜索差押許可状発付の違法 第一審/ /請求棄却/原告ら控訴
損害賠償請求事件	11	東京高裁 (平21ホ)	捜索差押許可状発付の違法 第1審/ /国に対する請求につき全部棄却/原告ら控訴
損害賠償請求事件	48	熊本地裁 (平18フ)	逮捕状、勾留状発付の違法
損害賠償請求事件	12	東京地裁 (平19フ)	捜索差押許可状発付の違法
損害賠償請求事件	32	東京高裁 (平22ホ)	違法な捜索差押命令状の発付 第一審/ /請求棄却/原告ら控訴 控訴審/ /控訴棄却/控訴人ら上告・上告受理申立
損害賠償請求事件	5	東京高裁 (平21ホ)	逮捕状・捜索差押許可状・勾留状発付の違法 一審/ /請求棄却/原告控訴 (控訴審/ /控訴棄却)
損害賠償請求事件	5	最高裁 (平22オ、 平22受)	控訴棄却決定の違法 第一審/ /請求棄却/原告ら控訴 控訴審/ /控訴棄却/控訴人ら上告・上告受理申立 (上告審/ /上告棄却・上告不受理/確定)
損害賠償請求事件	11	最高裁 (平22オ、 平22受)	捜索差押許可状発付の違法 第一審/ /請求棄却/原告控訴 控訴審/ /控訴棄却/控訴人上告・上告受理申立
損害賠償請求事件	0	東京高裁 (平22ホ)	捜索差押許可状発付の違法 第一審/ /請求棄却/原告ら控訴 (控訴審/ /控訴棄却)
損害賠償請求事件	3	東京高裁 (平21ホ)	逮捕状、勾留状発付の違法 第一審/ /裁判所関係は各請求棄却/原告1名につき控訴 (控訴審/ /控訴棄却)
損害賠償請求事件	10	広島高裁 (平22ホ)	付審判決定の違法 第一審/ /請求棄却/原告控訴
損害賠償請求事件	57	東京地裁 (平21フ)	第一審判決の事実誤認の違法
損害賠償請求事件	11	最高裁 (22オ)	逮捕状、勾留状発付の違法
損害賠償請求事件	0	神戸地裁 (平21フ)	勾留状発付の違法
損害賠償請求事件	4	東京高裁 (平22ホ)	執行猶予取消決定及び同決定の事実認定の違法 (第一審/ /請求棄却/原告ら控訴)
損害賠償請求事件	0	鹿児島地裁 (平21ロ)	勾留状発付の違法
損害賠償請求事件	9	東京地裁 (平21フ)	勾留状発付の違法
損害賠償請求事件	5	東京地裁 (平21フ)	刑事裁判手続の違法
損害賠償請求事件	4	東京地裁 (平22フ)	捜索差押許可状及び勾留状発付の違法

※訴え提起日H22.2.26

名称等(訴訟名等)	金額	事件番号	概要(簡単な説明, 今後の予定等)
小計19件	253		
行政事件に起因するもの			
国家賠償請求控訴事件	0	広島高等裁判所 平成22年(ネ)第●●号	広島弁護士会を被告とした別訴において原告が申し立てた裁判官忌避申立てにつき、広島高裁の裁判官らが主張を不当にすり替え却下決定したこと等が、原告の忌避申立権を侵害する職務不執行である等として損害金及び慰謝料を請求 広島高裁に係属中
損害賠償請求控訴事件	13	東京高等裁判所 平成22年(ネ)第●●号	原告が河川敷に設置していた滑空場について占有許可を取得すること等、国が行った行政指導の違法性を争った8つの訴訟のうち、第2次ないし第6次訴訟の上告事件を理由なしとして決定で棄却した手続が違法であるとして損害賠償を請求 東京高裁で控訴棄却判決(月日不明)、22.6.14 上告提起及び上告受理申立て
損害賠償請求事件	1	東京地方裁判所 平成21年(ワ)第●●号	原告が、松本市長の政教分離原則及び租税法主義に抵触する違法な職務行政行為に対し、損害賠償を請求する行政訴訟を提起したところ、長野地裁が訴え却下判決をしたことが、地方自治法242条1項の明文に反し、松本市長に対する違憲審査権の行使を怠る違法、違憲な判決であるとして物理的及び精神的損害の賠償を請求 東京地裁で訴え却下及び請求棄却判決、●●● 判決確定
国家賠償、慰謝料請求控訴事件	0	広島高等裁判所 平成21年(ネ)第●●号	原告が提起した広島地裁平成20年(行ウ)第●●号事件の第1回口頭弁論調査に原告が主張していない事実が記載されているとして慰謝料を請求 広島高裁で控訴棄却判決、●●● 同高裁で上告受理申立却下決定
国家賠償請求控訴事件	19	仙台高等裁判所 平成22年(ネ)第●●号	原告が提起した別件労働事件及び再審請求事件において、福島地裁の裁判官が原告の主張をないがしろに扱い、悪意をもって棄却判決をした職務行為が違法であるとして損害賠償を請求 仙台高裁に係属中
損害賠償請求控訴事件	2	福岡高等裁判所 平成22年(ネ)第●●号	原告が懲戒戒告処分取消等を求めて提起した一連の行政事件において判決をした裁判官が、違法又は不当な目的をもち、付与された権限の趣旨に背いてこれを行行使した特別の事情があり不法行為となるとして、慰謝料及び遅延損害金を請求 福岡高裁で控訴棄却判決、22.7.12 上告提起及び上告受理申立て
国家賠償請求慰謝料請求事件	0	広島地方裁判所 平成21年(ワ)第●●号	原告が提起した広島高裁平成21年(行ウ)第●●号事件の判決は、原告が主張していない事実を認定している等の不当判決であるとして慰謝料を請求 広島地裁で請求棄却判決、22.4.6 控訴提起(広島高等裁判所平成22年(ネ)第●●号)、広島高裁に係属中
慰謝料請求事件	0	広島地方裁判所 平成21年(ワ)第●●号	原告が提起した広島地裁平成20年(行ウ)第●●号事件等の審理において陳述をさせず、また調書をねつ造するなどして原告の裁判を受ける権利を侵害したとして慰謝料を請求 広島地裁に係属中
損害賠償請求事件	1	東京地方裁判所 平成22年(ワ)第●●号	原告が提起した東京簡裁平成20年(ハ)第●●号事件の審理において、裁判官が原告に対して、被告との和解を希望するのにその機会を与えず、弁論終結後に再開申立てをしたにもかかわらず判決を言い渡した等、不利益な訴訟進行をしたとして慰謝料を請求 東京地裁で請求棄却判決
裁判長違法職務執行慰謝料国家賠償請求事件	0	福岡地方裁判所 平成21年(ワ)第●●号	原告が提起した福岡地裁平成21年(行ウ)第●●号事件の審理において、民法150条に基づく訴訟指揮に対する異議申立てにつき裁判長が何らの裁判もせず弁論を終結させた等として慰謝料及び遅延損害金を請求 福岡地裁で請求棄却判決、●●● 判決確定
小計10件	36		
家事事件に起因するもの			
損害賠償請求事件	14	東京高裁 平成21年(行ウ)第●●号	審判官が親族関係調整調停事件において未成年者誘拐未遂事件をもみ消そうとしたこと、養子縁組審判事件の処理を放置した旨等を主張 (係属中(控訴審))
国家賠償等請求事件	2	仙台高裁 平成21年(ネ)第●●号	親子関係調整調停申立事件において、裁判所職員の著しい裁量権濫脱により精神的苦痛を被ったことを主張 (係属中(上告審))
損害賠償請求事件	2	大阪高裁 平成22年(ネオ)第●●号 平成22年(ネ受)第●●号	人事訴訟事件の和解において、担当裁判官が予断や偏見に基づく発言を行った旨を主張 (係属中(上告審))
損害賠償請求事件	1	大阪高裁 平成21年(ネ)第●●号	婚姻費用分担調停事件において、相手方の病状に配慮せず事務的に進めた結果、自殺に追い込んだと相手方の父母が主張 (係属中(上告審))
損害賠償等請求事件	0	那覇簡裁 平成21年(ハ)第●●号	児童福祉法28条1項に基づく児童養護施設入所措置承認事件において、家事審判官が、虚偽の事実を認定し、虚偽の審判をなした旨を主張 (係属中)
損害賠償等請求事件	0	那覇簡裁 平成21年(ハ)第●●号	児童福祉法28条1項に基づく児童養護施設入所措置承認事件において、家事審判官が、虚偽の事実を認定し、虚偽の審判をなした旨を主張 (●●● 取下強制)
損害賠償請求事件	37	広島地裁福山支部 平成21年(ワ)第●●号	成年後見人の適格性について十分な調査をすることなく知的障害者を成年後見人に選任したと主張 (係属中)
損害賠償請求事件	82	東京高裁 平成22年(ネ)第●●号	不在者財産管理人が預金を横領したのは、家裁が監督権限を適切に行使しなかったためと主張 (係属中(控訴審))
損害賠償等請求事件	0	那覇簡裁 平成21年(ハ)第●●号	児童福祉法28条1項に基づく児童養護施設入所措置承認事件において、家事審判官が、虚偽の事実を認定し、虚偽の審判をなした旨を主張 (●●● 訴え却下 確定)
国家賠償請求事件	0	広島高裁 平成21年(ネ)第●●号	忌避の申立てを簡易却下したことが違法であると主張(ただし、家庭局部分は忌避対象裁判官の扱った事件での手続進行が忌避の要因であると主張) (係属中(上告審))
国家賠償請求事件	5	東京地裁 平成21年(ワ)第●●号	児童福祉法28条事件で、裁判所と児童相談所が共謀して親権行使を妨害し、親権を剥奪したと主張 (係属中)
不法行為に基づく損害賠償請求事件	0	岐阜地裁 平成21年(ワ)第●●号	訴外人の相続放棄申述受理の申立てを受理したことで原告に損害を与える原因となったと主張 (係属中)
国家賠償請求事件	0	神戸地裁姫路支部 平成21年(ワ)第●●号	家事審判官が審問期日で原告を右翼であると断定したと主張 (●●● 請求棄却 確定)
不作為違法確認等請求事件	0	岐阜地裁 平成21年(ワ)第●●号	相続放棄申述受理の申立ての内容が虚偽であるにもかかわらず受理した違法と記録の交付申請を却下したことが不当な公権力の行使に当たると主張 (係属中 控訴審)
国家賠償請求事件	2	旭川地裁 平成21年(ワ)第●●号	離婚の人事訴訟において裁判所が違法な手続により判決をしたと主張 (係属中 控訴審)
国家賠償請求事件	0	広島地裁 平成21年(ワ)第●●号	違憲審査権行使に端を発した弁護士懲戒に関する別件行政訴訟の控訴審の判決が不当であると主張 (係属中(控訴審))
損害賠償等請求事件	0	横浜地裁小田原支部 平成22年(ワ)第●●号	成年後見開始事件における居住用不動産処分許可の審判に際し、原告の意見を聞かずに審判をしたと主張 (係属中)

名称等(訴訟名等)	金額	事件番号	概要(簡単な説明, 今後の予定等)
損害賠償請求事件	5	松山地裁 平成22年(ワ)第●●●号	保佐人が受領した和解金650万円のうち555万円を自己の用途に費消した不正事例において, 家庭裁判所の監督が不十分であったと主張 (係属中)
損害賠償請求事件	0	松山地裁 平成22年(ワ)第●●●号	虚偽の鑑定書と知りながら採用したことが違法であると主張 (●●●●● 請求棄却 確定)
損害賠償請求事件	19	東京地裁 平成22年(ワ)第●●●号	遺産分割事件に関連した不動産処分禁止仮処分申立事件の中で, 供託した担保(国債)の償還請求権が時効により消滅したことについて, 裁判所の担保管理義務の中には時効管理義務も含まれると主張 (係属中)
小計20件	169		
会計事務に起因するもの			
寄託金返還請求事件	2	横浜地裁 平成21年(ワ)第●●●号	破産予納金について提出者と異なる実質上の出捐者から返付請求権の譲渡を受けたと主張する第三者が, 譲渡を受けた返付請求権に基づいて予納金の残額の返付を求めた(●●●●● 請求棄却 確定)
損害賠償請求事件	57	静岡地裁 平成22年(ワ)第●●●号	庁舎工事の請負業者が下請業者に代金を支払わなかったため, 下請業者が国と元請業者に対し代金の支払いを求めた(H22.2.18 提訴 係属中)
小計2件	59		
合計200件	2147		

(注1)名称等欄は, 事件の通称名を記載

(注2)金額欄は, 平成21年度末時点において考えられる金額(金額が不明な場合は「-」)

(注3)百万円未満の場合には「0」とする。

(注4)事件番号毎に記入

(注5)訴訟額が10億円以上の訴訟については, 「国の貸借対照表」において事件名を掲載することとしております。

(注6)係争中の訴訟等で損害賠償額が10億円を超える場合は個別の件名を記載することとしております。

(注7)その他の主要な偶発債務に関しても記載することとしております。